



平成23年 9月12日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代表者名 代表取締役社長 金 武祐
コード番号 2929 (東証マザーズ)
問合せ先 総務部 部長 新谷 義信
T E L 075-394-8600

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年9月10日に発表いたしました平成23年7月期(平成22年8月1日～平成23年7月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成23年7月期の業績予想の修正(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,050	4	65	60	1,021円27銭
今回修正予想(B)	1,006	△44	32	△46	△793円23銭
増減額(B-A)	△44	△48	△33	△106	—
増減率(%)	△4.2	—	△50.8	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成22年7月実績)	959	△63	18	15	259円52銭

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 修正の理由

売上高につきましては、ボーンペップ™ が中国最大手乳業メーカー・蒙牛乳業に採用開始され売上が大幅に伸長した事や、主力である葉酸たまごの売上が国内外で順調に推移しましたが、ファーマギャバ™ の売上が当初予測を下回ったこと、新規素材の商品化が当期に達成できなかったこと等により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、研究開発費、人件費などの販売管理費の削減に努めてまいりましたが、利益率の高いファーマギャバ™ の売上が低調であったこと、売上構成割合が他の機能性素材に比べ収益性の低い葉酸たまご事業等に偏ったことにより、営業利益、経常利益ともに予想値を下回る見込みとなりました。

最終損益につきましては、保有株式の株価下落により投資有価証券評価損74百万円を計上した結果、予想を下回る見込みとなりました。

3. 今後の展開と対応策

平成23年7月期（平成22年8月1日～平成23年7月31日）の業績につきましては、当初予想を下回る見込みとなりましたが、売上高は10億円を超え、営業利益及び経常利益につきましても前年実績を上回り、業績は改善されております。

次期以降においては、今期の実績を基に、更なる増収増益を目指し、以下のとおり対応してまいります。

- (1) 営業面については、今期中国最大手乳業メーカー・蒙牛乳業に採用され売上が大幅に伸長しているボーンペップ™ の採用製品拡大と、昨年末より中国瀋陽市内で販売開始されている葉酸たまごのグローバルビジネスを図り、日本、韓国、中国に加え近隣アジア諸国での早期販売開始に向けて営業活動を強化してまいります。北米市場においては、大手飲料メーカーへのファーマギャバ™ の新規採用に向けて取り組んでおり、大型案件となるべく来期での事業化を目指しております。

国内営業につきましては、既存主力製品であるファーマギャバ™ の売上回復に向け、大手取引先との関係を強化し、また今期において達成完了とならなかった新規素材の商品化を実現し、業績の更なる向上に取り組んでいく所存であります。

- (2) 開発面については、新規素材の商品化必達に向けて研究開発活動を強化し、また各製品毎に生産技術開発を進め生産効率の改善を図る事で、売上の拡大と利益率の改善を図ってまいります。
- (3) 管理面につきましては、管理費の見直しを進め、販売管理費の削減を今後も徹底して継続し、来期以降も安定した業績を維持・向上できるよう取り組んでまいります。

以上